

コミュニティ だより

徳島市
徳島市コミュニティ会
連絡協議会
〒770-8571
徳島市幸町2丁目5番地
TEL(088)621-5510
FAX(088)621-5511

「八万花の会」の活動

八万中央コミュニティ推進協議会
会長 露口玲子

八万中央コミセンの門を入るとプランターに植えたたくさんの草花が目に入ります。その美しい花を見た地域の人たちが「コミセンだけでなく地域全体にも花を植えよう」と提案し「八万花の会」が生

まれました。花の好きな会員を集め、プランターに花を植えて、自宅近くの公共の場所に置きました。近くの公園や駅、停留所の周辺に、町を美しくしたいとの気持ちでプランターの花を置きました。八万公民館跡地のドリーム・パークに置いた花の世話をしている会員の姿が徳島市公園緑地課の目にとまり、花の材料を頂きながら、会員が一生懸命世話をしています。

文化の森公園から花壇のサポートの依頼を受けて、花の移植をしたり雑草駆除など文化の森公園の環境美化に貢献しています。花



中秋の名月の「観月会」お月見の花とお団子

花を植えるには土、苗、肥料、灌水などたくさん手間と経費がかかります。土は買うこともありませんが、地域の奇様な方から頂いています。花の苗は自分で育てることもあります。徳島市の植物園から季節の苗をたくさんもらっています。また、消毒や肥料などの経費などもあるので、平成二十四年から八万中央コミセンの自主事業にして、八万



植物園からもらった花をプランターに移植

の環境美化に力をいれています。毎年「あさがお祭り」をコミセンの玄関で行っていましたが、今年あさがお祭りをたくさん栽培し、八万の中心地の438号線沿いの店先に置いてもらうことになりました。今はコミセンの庭で大きく育っています。やがて町中にデビューする時期を待っています。

「八万花の会」は花の栽培をするだけでなく、地域の季節の行事を取り入れています。春は桃の節句の「ひな祭り」勝浦のビッグひな祭りから七段飾りのお内裏さまセットの里親になりました。五月人形は町内の方から寄贈され、旧の端午の節句までコミセンのロビーに飾りました。展示が終わるときには、会員が行事食を作りみんなでおいしくいただきました。秋には中秋



文化の森公園でバラの移植作業

の名月の日に、音楽をする人たちを招き「観月会」を実施しています。地域の人々たちをたくさん招待して、ススキや秋の七草とお団子をお供えして歌を歌ったり楽器を演奏しています。毎年の行事になったので、地域の人は心待ちにしてくれています。会員は浴衣を着て、地域の人たちを接待します。

八万花の会は地域の環境をよくし、地域行事などにも参加していますが、もっと広く地域全体に花があり、親しみのある「八万花の会」の活動として頑張っていきたいと思っています。

第一回 三世代交流

津田の歴史・史跡めぐり

津田コミュニティ協議会

会長 島田和男

平成二十二年四月に徳島市の支援事業「地域の力」まちづくり支援事業に応募し、市内三地区の一つに選ばれました。現在全国的に核家族化が進み、親から子へ、子から孫へと言い伝えられてきた地域の歴史や文化が消えかかっています。特に津田地区では書

物の宝庫であるお寺が一時廃寺となり、書物が分散し地域の歴史や文化が、断片的にしからなくなっていました。そこでこの行事の基本資料となる地域の歴史や史跡など調査し、歴史は年代別にまとめ、史跡はできるだけ詳しくまとめました。



開会式



いよいよ出発



史跡ポイントで説明を聞く

「地域の力」まちづくり支援事業の三年目を迎えた昨年十一月三日に第一回の「津田の歴史・史跡めぐり」を実施しました。

当日は好天に恵まれ、園児から小・中学生はもちろん八十歳代の高齢者まで約百二十余名の方々が参加くださり、津田海岸や港周辺の歴史や史跡を巡りました。

歩きながら話を聞いていると、「津田に何十年も住んでいるのに何も知らなかった」と話している人がいるかと思えば、こちらの人は「この堤防何メートルあって南海地震の津波に対応できるか」と聞く

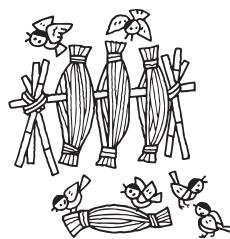
人もおり、目標の三世代交流は十分達成できたと思っております。

しかし巡る数が多すぎて覚えられないので、次回は数を減らし休憩をゆとり取り歴史クイズ等をしては、との提案もありました。

この事業を行うことにより、人の交流ができ町の活性化がはかられるし、またふる里津田の歴史、文化に対する共通認識ができ、津田地区を思う心が生まれ後継者が育つてい

くものと確信しています。また、町を歩くことにより地形を覚え避難時に役立つとともに健康増進にもなります。

今後は反省点を考慮しながらいろいろ効果が見れるよう恒例行事として実施していきたいと思っております。



川内南小学校 スクールガードと故井上会長

川内南コミュニティ協議会

会長 河井宏紀

「こんにちは」と言えば「こんにちは」と元気な声が大半返ってきます。しかし、無言で下を向く児童などさまざまな下校風景です。

川内南小学校のスクールガードは平成十八年九月よりPTA、民生児童委員会、コミュニティ協議会などが教育

委員会支援のもと実施しております。真紅の帽子・ジャンパーに黄色のタスキと、ど派手な衣装で当初は気恥ずかしい気がしましたが、これも不審者に見回りの人がいることを知らせることだと思えば、下級生の下校時に合わせて徒歩、自転車等で巡回。その他にも

コミュニティ ふれあいと健康づくり

八万コミュニティ推進協議会 福原健生

徳島市の総人口の十分の一の人たちが暮らす八万地域には、二つのコミュニティセンターがあります。一つは、この地区にもあるコミセン。もう一つは近隣地区も利用できる体育館型の広域施設です。

での散歩やジョギングがやりづらくなったので、ここに来ました。四季折々、日ごとに装いを変えて迎えてくれる自然の森に魅せられ、はまった人が多いといえます。

ですが、ここで紹介したのは、かつて地区を挙げて誘致した県立文化の森総合公園の野外施設です。行き交う人が「おはようございます。」「こんにちは。」と挨拶を交わす散歩道での触れ合いです。近頃、街中



阿波国大絵図
蜂須賀家旧蔵 18世紀後半にみる妙見さん人気

そして、もつこの界隈の歴史を知れば面白いでしょう。

この山は、北側園瀬川対岸の橋本名の人々が、古くから前山と呼んだ柴刈り山、つまり里山でした。「おおじんさん」というのは、今も文化の森入口の右に鎮座する王子神社の愛称で戦国時代末期に、ここに居を構えた夷山城主庄野和泉守が城の守護神として伊勢国多度神社から祭神を申請したと伝えています。神域の社叢は小規模だが原生林です。また受験必勝の祈願で知られる猫神さんは、悲話お松さんとその愛猫を祀る境内社なのです。

また、これらの山畑がミカン畑となったところには、昭和天皇にも献上したところのある樹

第23回

徳島市コミュニティまつり開催

今年度は国府コミュニティ協議会を中心に第4ブロックが担当となり開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

とき 平成25年10月27日(日)

場所 国府小学校(国府町中61-1)他

※臨時駐車場あり

※古墳巡りウォーキングの会場は考古資料館(国府町西矢野字奥谷10-1)です。

内容	10:00~10:30	開会式
	10:00~12:00	古墳巡りウォーキング(定員50名)
	10:30~14:30	模擬店(売切次第終了)
	10:30~15:00	演芸大会
	15:00~15:15	閉会式
	15:15~	抽選会

問い合わせ先

徳島市コミュニティ連絡協議会事務局

(市民協働課内)

国府コミュニティ協議会

TEL 621-5510

TEL 642-1993



齢百年を越える温州ミカンの古木も残るなど周辺にも見所は多いですが、ここでの最後のお薦めは、文書館裏山の遊歩道東詰の展望所から雑木林を尾根伝いに西南に登るトレイルランならぬ山道ウォーキングです。

標高二百メートル前後の峰筋をアップダウンして、その昔に源義経が越えたとされる、あずり越え道とクロスして市立動・植物園に至る片道約四キロメートルのコース。その先さらに二キロメートル進めば上八万の最高峰三百十五

メートルの高丸山へと道は続きますが、まずは登りで約一キロメートル、標高百七十メートルの山頂に鎮座する明現神社を目指しましょう。この地点は八万と上八万、大谷の三町が頂上で交いするところで、木の間から四方の見通しも利きます。天地創造の神天之御中主神(北斗妙見菩薩)を祀るにふさわしいところです。藩政時代には相当賑わったらしく大谷の本参道以外にも参道があって、山の表日裏と裏側の日裏の人々が互いに交流もしたところらしいです。

シリーズ
名所・旧跡

丈六町の史跡

丈六秋葉神社

丈六コミュニティ協議会

会長 梅本辰雄



今回は、国の重要文化財および県の有形文化財に指定されている丈六寺の裏山（吉田山）に残る史跡について紹介します。
裏山のことは秋葉山とも呼ばれ、丈六寺鎮守秋葉神社があります。十月の秋祭りには神事が行われ、献餅・玉串奉獻祝詞奉上、打子による神樂

献上などが行われています。お宮も以前は子どもたちの遊び場のひとつでした。現在は訪れる人も少なく、境内は木々が茂り、ひっそりとたたずんでいます。神社への登り口は勝浦川に沿って212号新浜勝浦線側にあり、昼間は多くの自動車が引き交っています。

その登り口には丈六寺秋葉三尺坊由来略記が書かれた表示板があります。この由来略記によると、越後国蔵王堂三尺坊に一人の修験者あり、この修験者は世の無常をなげき一念発起、荒行で知られる「不動三昧の行法」を行うこと八万八千回、ついに満願成就し、「鎮防火燭の行法」と「空中飛行の術」を会得するに至るとあります。



師弟忽然と消息を絶ち以降二人の姿を巻間に見ずと伝えられています。またこの二人が去った松の樹の跡に開祖金剛禪師日頃愛用の架娑が掛け残されており、以来この松をだれということなく「架娑掛の松」と言い広く庶民に尊崇されていたが、惜しくも昭和五十四年松食虫に侵され枯死しました。社殿に安置されているご本尊はその形の丈三尺、兜金を冠り手に素縄をもち両翼を広げ白狐に跨ります。また別に脇侍二体ありいづれも木彫製ですが、作者製作月日ともに不詳とされています。

秋葉三尺坊社略年譜
十五代 秋葉三尺坊拜請安座（年不詳）
十六代 享保十五年四月十二日より広壇
二十三代 天保七年
社殿新改築
天保十三年二月二十四日
吉田殿勤免統統神祇官卜部良芳
明治三年十一月二十八日
廃仏。社で御本尊三体丈六寺へ引き取る。



明治三十三年十二月十八日
社殿祭具凡て長田近藏神主樽本四郎立会にて引き渡す。
明治十一年七月二十三日
焼失以後小祠あるのみ
明治十一年より明治三十五年
この間に神社側と合議生し小祠を山頂より八幡神社へ遷座す。
以降山頂荒廃す。
昭和二十六年十月
社殿再建丈六寺に安置せる
御本尊三体旧跡に遷座



加茂コミュニティは 伝統ある文教地区です

加茂町内会連合会
会長 山田 稔

加茂は面積三、四三平方キロメートルに約二万人の人口の行政地区であります。田宮街道沿いに学門の神様、菅原道真公を祀る天神社の広い社があります。造営は平安時代と聞きます。去る平成十五年には千百年を記念して、神殿と拝殿を改築して堂々としています。高校四校を含む中学校・小学校を始め幼稚園・保育所も複数あり、文字通りの学門の神様の存在が大きいと思っております。

ここからは、学校の歴史に触れながら紹介します。

宮の向かい(南田宮四)に千松小学校があります。創立は明治四年天神社の連歌堂から始まったと伝えられています。児童の学区は田宮、矢三、春日

の加茂地区の学童の通う学び舎であります。校名も天神の森に植えられた千本松から校名としたと伝えられています。

北田宮四に県立城北高校があります。ここは、去る一九三〇〜三九年まで公認の草競馬場でありましたが、戦争拡大で公営ギャンブル禁止により閉鎖となりました。その跡地に岡田勢一氏の寄付金により一九四一(昭和十六)年二月二〇日設立しております。一回生の採用開校式は千松小学校で実施して同校内の仮校舎で勉強、昭和二十年三月、第一回卒業から昨年(平成二十四

年十月二十日)に設立七十周年記念式典が挙行されました。北矢三町二丁目、県立徳島科学技術高校があります。

工業学校の前身は明治三十七年から始まり、前川町から昭和十四年に現在地に移転しております。平成二十一年には学校再編で施設並びに校名も改まり、重い歴史の上に立ち、未来を創造するたくましい人づくりに力点を置いています。

北矢三町一丁目に県立中央高校があります。設立は昭和五十三年四月一日発足した定時制の中央センターとして発展的に創造され、現在では昼間夜間ともに生涯教育センターとしての役割は大きいです。

北田宮一丁目に昭和五十五年県立城ノ内高校が創設され、平成十六年に県内初の併設型中高一貫校として発足しています。豊かな人間性と社会に貢献できる人材を育成する教育目標で発展し続けています。

戦後、占領軍の教育改革で、六・三・三制が導入されて南矢三町に城西中学校が

開校して佐古小学校と千松小学校の児童が進学して勉学に励むことは当時としては画期的な出来事であったかと思えます。大きな問題もなくすべの学び舎が設立された後に発展することは、教育に携わる関係者の努力はもちろんではありませんが、その他に加茂コミュニティが持つ伝統の底力ではないでしょうか。私はこの地域に住まいして誇りに思います。

加茂コミュニティ協議会では、会長を中心に子どもたちの安心安全の支援、また防災面として緊急時の飲み水確保のため井戸を掘るなど、来る事象に先取りして対処している地域です。

(加茂コミュニティ協議会)



緊急時の飲み水確保のための井戸

編集後記

二〇二〇年オリンピックが東京に決まりました。夢と希望が湧きおこりました。

学園都市加茂地区は夢と希望が渦巻いていることでしょう。徳島市も大きく発展したものです。

街と人の心に花をと「八万花の会」の活動も夢と希望を与えてくれます。

子どもを守り育てる川内南のスクールガードの尊い願いや、自然に恵まれた北井上地区が絆を強める四つの活動もまた未来へとつながる希望の営みです。

過去を見直し未来を切り開く大切さがいわれています。ほんとは、江戸時代の藍や塩米の他国販売には船の働きがあります。津田港が本格的に大きな働きをしました。「津田の歴史・史跡めぐり」の再発見です。八万の中世・近世の王子神社や延生軒などの再発見も見直してみたいです。丈六寺といえは丈六坐像(田口重能寄進?)その裏山に秋葉神社(灯籠の寄進者阿波の大商人魚屋など)の紹介、共に徳島市は重視する必要があります。

(佐藤義忠 記)